

二〇〇五年
四月二十五日
発行刷



第 88 卷 第 3 号 史学・地理学・考古学

論 説

- バロンの反乱期における在地領主の相続問題……………朝 治 啓 三 (1)
近代日本の文部省人事構造……………鄭 賢 珠 (30)
——明治中後期における「教育島」の形成——
清末の修身教科書と日本……………土 屋 洋 (62)
アトリー労働党政権のポーランド人
再定住軍団の編成1945—1946……………溝 上 宏 美 (97)

書 評

- Himanshu Prabha Ray, *The Archaeology of seafaring
in Ancient South Asia*……………部 勇 造 (131)

論 文 評

- ユダヤ人高利貸像再考 (Gilomen, Hans-Jörg, *Wucher und
Wirtschaft im Mittelalter*, 1990)……………佐々木 博 光 (137)

紹 介

- 浮田典良著『地図表現半世紀』、
浮田典良・森三紀著『地図表現ガイドブック』……………上 杉 和 央 (145)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

また、カラーページがふんだんに使われ、色によるイメージの違いや地図彩色の法則なども説明されている(第十章)。さらに、色覚障害者にも分かる地図表現について説明されるなど、これまで(残念ながら)考慮されることがほとんどなかった点にまで言及されている。もちろん、手描きによる製図方法も丁寧で分かりやすい説明があり、あらゆる主題図作成の際に役立つ内容を備えている。

さらに、銅版彫刻時代から現在のデジタル・マッピングにいたる地図原図作成の歴史が解説されており、地図作成の変遷も追えるようになっていく(十二章)。

ただ、そのような変遷にあつて、変わらないものもある。それは、主題図の「信頼性(reliability)」と「明瞭性明瞭性」である(五―八頁)。この二点が揃ってはじめて主題図はその威力を発揮するのであり、それはどのような手段や道具で描かれようが、変わることはない点である。本書では、「信頼性」と「明瞭性」の追求こそ、主題図作成の極意であることがさまざまな場面、陰に陽に語られている。

『地図表現ガイドブック』が主題図作成

に必要な「信頼性」と「明瞭性」を獲得するための技術的指導書であるとするならば、先の『地図表現半世紀』は、一研究者が両者を獲得していく軌跡が綴られた書であり、実践的指導書と位置づけられるものである。この二冊を通読することで、主題図作成の基礎的知識はすべて身に付く。あとはペン(もしくはマウス)を持って練習あるのみである。

主題図作成の技術は、何も地理学者だけが必要な技術ではあるまい。どのような分野の研究者であれ、主題図を描く必要はあるであろう。その意味で、ここで取りあげた二冊の書は、あらゆる研究者にとって必読の書として位置づけられるものである。とりわけ、主題図作成の経験の少ない初学者にとつては不可欠な書である。

浮田先生のご冥福をお祈りするとともに、先生が残された貴重な財産をぜひとも継承していきたい。

『地図表現半世紀』 B4判 一〇六頁

二〇〇五年三月 ナカニシヤ出版 二四〇〇円

『地図表現ガイドブック』 B4判 一三四頁

二〇〇四年七月 ナカニシヤ出版 二四〇〇円

(上杉和央 京都大学総合博物館)

『史林』投稿規定(二〇〇四年四月改定)

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

○論説 四百字詰 八十枚以内

○研究ノート 四百字詰 五十枚以内

○研究動向 四百字詰 八十枚以内

○書評 四百字詰 二十枚以内

○論文評 四百字詰 二十枚以内

○紹介 四百字詰 三枚程度

◇論説には「要約」(四百字以内)と「英文要約」、研究ノートには「欧文要約」を添付のこと。

◇研究動向・書評・論文評には「欧文タイトル」のみ添付のこと。

◇注は各章末に入れること。

◇査読用に複本(原本からコピーしたもの)の一部を添付すること。

◇電子データがある場合は、下記「補足」の「電子データ添付要領」に従って添付すること。

◇図表が必要な場合は、下記「補足」の「図表作成要領」に従って作成、添付すること。

注意：特殊な図表を掲載したり、特殊活字

を用いたりする場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。

送付先・史林編集委員会

〒162-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科内

『史林』投稿規定「補足」

〈電子データ添付要領〉

・電子データは、フロッピーディスク・CD-R・CD-RW・MOのいずれかで提出すること。

・OS (Windows, Mac 等) を明示すること。

・テキスト形式で保存したファイルを提出すること。ワープロソフト (Word、太郎、Nisus Writer 等) 特有の形式で保存したファイルには対応できない。

・ワープロ専用機の場合、機種を明記すること。データはDOSのテキスト形式に変換し、DOSフォーマットのフロッピーディスクに保存すること。

〈図版作成要領〉

・図はトレーシングペーパーや製図用ケン

ト紙などに、製図用インキで明瞭に描くこと。その際、線の太さを一定に保つため、製図用ペンを使用することが望ましい。仕上寸法の二倍 (面積なら四倍) 程度で製図し、希望縮尺率を明記すること。

・図中の文字は写真植字を用いて印刷するので、鉛筆書きするか、上にトレーシングペーパーを重ね該当箇所に文字のみを書き入れること。また、インスタントレタリングやワープロ文字を原図に貼り付ける場合は、仕上段階の鮮明度を配慮すること。

・写真図版は原版が十分に鮮明で、コントラストが明瞭なものを選ぶこと。仕上寸法の1~2倍の原版が望ましく、希望縮小率を明記すること。なお、巻頭にA1ト紙で印刷することを希望する場合は、割付・仕上等は編集委員会で調整する。その経費は投稿者負担となることがある。表は仕上を配慮して、文字数や表現法を工夫すること。原表の掲載を希望する場合は、その旨を明記し、図版に準じた体裁を整えること。

・本文原稿中に図表の割付箇所を注記すること。

注意：図表に不備がある場合は、投稿者に修正を依頼するか、編集委員会が修正します (経費は投稿者負担となります)。

編集後記

今回は比較的新しい時代についての論考が並ぶこととなりました。また、論文評も初登場です。御味読下さい。(T)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.nic.ac.jp/shr/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会平成一六年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) が交付されております。

定価 二〇〇円
二〇〇五年四月 二五日印刷
二〇〇五年四月 一日発行
史林 第八八巻第三号 (通巻第四五一号)

京都市左京区吉田本町京都大学文学部内
電話 (〇七五) 七五三・二七八七
FAX (〇七五) 七五三・二七八七
発行人 史学研究会
振替東京 〇一〇七〇・二五一五五番
理事長 紀平英作

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽菟田一丸

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXVIII No. 3 May 2005

CONTENTS

Articles :

- ASAJI Keizo, Inheritance Problem in the Time of Baronial Reform
Movement, 1256-67 (1)
- JUNG Hyunjoo, The Structure of Personnel in the Ministry of Education
in Modern Japan: The Formation of the "Education Field"
in Mid-to-late Meiji (30)
- TSUCHIYA Hiroshi, Late-Qing 清 Textbooks on Ethics and Meiji Japan (62)
- MIZOKAMI Hiromi, The Formation of the Polish Resettlement
Corps by the Attlee Government, 1945-1946 (97)

Book Review :

- Himanshu Prabha Ray, The Archaeology of seafaring in Ancient
South Asia (SHITOMI Yuzo) (131)

Article Review :

- Gilomen, Hans-Jörg, Wucher und Wirtschaft im
Mittelalter, 1990 (SASAKI Hiromitsu) (137)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369